

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月19日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|-------------------------------------|-------|-------------|
| 事業所番号 | 3890500030 | | |
| 法人名 | 株式会社 お茶屋の里 | | |
| 事業所名 | グループホーム 下の茶屋 | | |
| 所在地 | 新居浜市西の土居町二丁目8番23号 (電話) 0897-36-5139 | | |
| 管理者 | 渡辺 伸美 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 JMACS | | |
| 所在地 | 松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年10月2日 | 評価確定日 | 平成20年11月19日 |

【情報提供票より】 (平成20年10月1日事業所記入)

| | | | |
|----------------------------|-----------------|--------------------|-------------------------|
| (1)組織概要 | | | |
| 開設年月日 | 平成18年11月1日 | | |
| ユニット数 | 2ユニット | 利用定員数計 | 18人 |
| 職員数 | 17人 | 常勤 | 16人, 非常勤 1人, 常勤換算 16.6人 |
| (2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く) | | | |
| 家賃(平均月額) | 56,000円 | その他の経費(月額) | 利用状況により異なる |
| 敷金 | 有(円) ③ | | |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有(円) ③ | 有りの場合償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 450円 | 昼食 450円 |
| | 夕食 | 450円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり 1,350円 | | |
| (3)利用者の概要 (平成20年9月22日現在) | | | |
| 利用者人数 | 17名 | 男性 6名 | 女性 11名 |
| 要介護1 | 1名 | 要介護2 | 4名 |
| 要介護3 | 10名 | 要介護4 | 1名 |
| 要介護5 | 1名 | 要支援2 | 0名 |
| 年齢 | 平均 84歳 | 最低 69歳 | 最高 97歳 |
| (4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算 | | | |
| 指定 | あり・なし | 指定介護予防認知症対応型共同生活介護 | |
| 指定 | あり・なし | 指定認知症対応型通所介護 | |
| 届出 | あり・なし | 短期利用共同生活介護 | |
| 加算 | あり・なし | 医療連携体制加算 | |

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員は、利用者に選んでいただくことを大切にされている。日々、ご本人に意向を聞きながらかかわっておられ、調査訪問時、利用者の状態を踏まえて「ゆっくり食べてくださいね」と声をかけておられた。
 利用者の中には、歌を歌いながら入浴されたり、仲の良い利用者同士で入浴される方もおられる。入浴を嫌がられる方は、ご家族と一緒に入浴されることもある。
 遊歩道を散歩されるのが日課となっている方がおられ、近所のお寺やお地藏さまをお参りされている方もいる。公園へお花見に出かけられたり、ドライブを楽しまれることもある。

【質向上への取組状況】

| |
|---|
| <p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の評価結果を受けて、おやつ・手芸品を利用者と職員で楽しみながら手作りされる等、楽しむ機会を増やされた。 |
| <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員は、手分けして自己評価に取り組み、管理者がまとめられた。 |
| <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議では、事業所の現状や行事の報告をされている。自治会長の方より、利用者同士のトラブルについて解決策のアドバイスをいただいた。会議時、出席者と市内の事業所を見学された。 |
| <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回、家族会を行事に合わせて開催されている。ホーム便りを通して、ミシンや使用済みの布等の提供をお願いされることもあり、ご家族は快く提供してくださっている。 |
| <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者は、散歩時に、地域の方とおしゃべりされたり、お花等をいただくこともある。近隣小学校の運動会では、利用者が借り物競走に参加された。毎年、夏休みに、中学生が車椅子の掃除やお話し相手のボランティアに来てくれている。近くのお寺の行事には招待いただいている。 |

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 下の茶屋

(ユニット名) 秋 桜

記入者(管理者)
氏名 渡辺 伸美

評価完了日 平成 20年 9月 22日

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | <p>(自己評価)</p> <p>昔から住んでるから、近所だからと関心を持って下さる方も多く、入所を決めて下さったり今までの生活を続けていける事を望む。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所では、「地域の中で交流やふれあいを密にして、楽しく生きがいをもてるように」という理念を掲げ、認知症や事業所のことを地域の方に理解していただけるよう、取り組みをすすめておられる。</p> | | 自治会長や民生委員と関係もよく、私たちの理念を理解し、応援してくれている。 |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | <p>(自己評価)</p> <p>職員と話し合っ作り、毎朝、申し送り後に一つずつ読み上げ意識して利用者に関わりケアしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>毎日の朝礼時、職員が理念を読み上げ、共有に努めておられる。</p> | | 今後もずっと実践に向け取り組みたい。 |
| 3 | | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | <p>(自己評価)</p> <p>理念が出来た時点で説明と共に家族に郵送している。地域の中での生活を報告していきたい。</p> | | 家族会、運営推進委員会でも広めていきたい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 4 | | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | (自己評価) 毎日近くの遊歩道を歩いており、近所に人、通りかかった人には必ずあいさつしたり、お花を頂いたりする。 | | 声はかけているが、気軽に立ち寄ってもらえるようにしたい。 |
| 5 | 3 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | (自己評価) 運動会・文化祭・太鼓祭り等、行事に参加させてもらい交流を深めている。 (外部評価) 利用者は、散歩時に、地域の方とおしゃべりされたり、お花等をいただくこともある。近隣小学校の運動会では、利用者が借り物競走に参加された。毎年、夏休みに、中学生が車椅子の掃除やお話し相手のボランティアに来てくれている。近くのお寺の行事には招待いただいている。 | | 今後も積極的に参加したい。 事業所の行事へ、地域の方を招くような機会作りを考えておられた。又、地域の方達とのさらなる交流に向けて、散歩時等に気軽に立ち寄っていただけるよう、声かけをしていきたいと考えておられた。 |
| 6 | | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価) 散歩や近所の人との交流の場である遊歩道、周辺を月1回職員みんなで掃除をしている。 | | 月1回の掃除はずっと続けていきたい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | (自己評価) 会議やミーティングの時改善にむけて話し合っている。一年間の反省を見直しの機会と思っている。 (外部評価) 職員は、手分けして自己評価に取り組み、管理者がまとめられた。前回の評価結果を受けて、おやつ・手芸品を利用者と職員で楽しみながら手作りされる等、楽しむ機会を増やされた。 | | 職員全員に浸透させていきたい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|--|---------------------------|--|
| 8 | 5 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 地域包括支援センターの人や地域の人達の参加により、意見や質問を頂き10回開催できている。 | | 家族の参加をもっと呼びかけていきたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 会議では、事業所の現状や行事の報告をされている。自治会長の方より、利用者同士のトラブルについて解決策のアドバイスをいただいた。会議時、出席者と市内の事業所を見学された。 | | 地域包括支援センターの担当者より、会議の進め方についてアドバイスをいただき、事業所では、報告だけでなく、いろいろな議題を提案して、会議内容の充実を図りたいと考えておられた。 |
| 9 | 6 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 成年後見制度を一緒に取り組んでおり、行き事する機会は増えている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 介護相談員の訪問が毎月あり、食事のメニューについて等、利用者の希望を聞き取ってくださっている。市主催の管理者会議に参加し、運営推進会議の進め方等について話し合われた。 | | |
| 10 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 研修には進んで参加するようにしている。知識等を学んでいきたい。 | | 今後も研修には参加していきたい。 |
| 11 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | (自己評価) | | |
| | | | 事業所内でも虐待については何度も話し合い特に注意を払い、防止に努めている。 | | 今後も学習の機会をもち他所での研修にも積極的に参加したい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 契約書にそって丁寧に説明し、理解いただいて契約を結んでいる。 解約時は十分話し合い納得いくよう転居先へと支援している。 | | 利用者・家族の不安を解消できるよう十分な説明をしていく。 |
| 13 | | 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 利用者の表情やそぶりなどを観察し言葉にできることは積極的に聞き毎日のミーティングに反映している。 | | 日々の生活の中で、利用者の気持ちや言葉を傾聴し活用していきたい。 |
| 14 | 7 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価) 日々の暮らしぶりや状況を来所持に報告、相談を行っている。 必要に応じて電話連絡を行っている。 | | 定期的な連絡は必要性を感じるので、健康状態や気になることは知らせていきたい。 |
| | | | (外部評価) 毎月作成しているホーム便りに担当職員が手紙を添え、ご家族に送付しておられる。又、ご家族の来訪時には、日々の様子等を報告され、行事の案内もされている。健康状態等は、電話で連絡されている。 | | |
| 15 | 8 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 契約時にも説明し、意見箱も設置している。 ホーム便りにも載せたり、家族会でも説明している。 | | 今後も家族の意見等は謙虚に受けとめていきたい。 |
| | | | (外部評価) 年1回、家族会を行事に合わせて開催されている。ホーム便りを通して、ミシンや使用済みの布等の提供をお願いされることもあり、ご家族は快く提供してくださっている。 | | 管理者は、家族会をもっと活発な会にして、ご家族からのご意見等を多くいただけるよう、すすめていきたいと考えておられた。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|---|--|---------------------------|---|
| 16 | | 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) 現場の職員の声は大切と思っている。 全体会でのミーティングでも話し合っている。 | | 言いにくい不平や不満も個人面談もしたり耳を傾けていきたい。 |
| 17 | | 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | (自己評価) 職員には理解してもらい、利用者の現状にあわせ交替勤務の調整に努めている。 | | 職員不足の為今後ゆとりあり職員数の確保が必要です。 |
| 18 | 9 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価) 異動は必要最小限にしていきたい努力している。 利用者が戸惑わないようケアの伝達を正確に行うようにしている。 | | 異動時は十分な引き継ぎ期間が十分取れず難しいがダメージを最小限にしていく努力していきたい。 |
| | | | (外部評価) 新しい職員が入った時には、利用者への言葉づかいや笑顔で挨拶することの大切さを伝え、数日は、先輩職員に付いて学ぶようにされている。ユニット間で職員や利用者は行き来されており、事業所全体の職員間でコミュニケーションを図っておられる。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) 1年間の研修計画をたて全職員参加できるよう話し合っている。 | | 意欲的に参加できるようにしていきたい。 |
| | | | (外部評価) 職員は、県GH連絡協議会の相互評価事業や東予地区研修会に参加されている。研修受講後は、毎月行われるユニット会で報告し、共有されている。法人内でも月1回研修が行われ、最近ではノロウイルス対策について学ばれた。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|---|---------------------------|---|
| 20 | 11 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価) | | |
| | | | 相互研修にも参加することになり今年2回目となりネットワーク作りを広げていきたい。 | | おたがい歩み寄りいろいろな刺激を受け協力助け合って質の向上に向けて努めていきたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 地域の福祉施設の文化祭に利用者とともに参加し、バザーを楽しまれた。職員は、相互評価事業に参加し、他事業所で手作り石鹸の作り方を教えてもらった。 | | 事業所の行事等に他事業所の方達もお誘いし、交流をしていきたいと考えておられた。さらに、ネットワークを広げ、貴事業所のケアの質向上を目指していかれてほしい。 |
| 21 | | 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 運営者は定期的に新睦の場をもち気分転換や交流が図れる機会を作っている。 休憩場所も配慮している。 | | 運営者と話す機会を多くしたり気分転換を計れるようにしていきたい。 |
| 22 | | 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | (自己評価) | | |
| | | | 職員には理解してもらい、利用者の現状にあわせ交替勤務の調整に努めている。体調、様子を見ながら、話し合いお互いを助け合いながら各人が向上心をもてるように努めている。 | | やはり話せる機会を多くしコミュニケーションがとれることが大切だと思う。 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 23 | | 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) | | |
| | | | 家族や本人自身とも話したり見学や体験をすすめる不安をできるだけ解消できるよう努力している。 | | 情報が少ないことも多く利用するまでに把握はなかなか難しいが努力していきたい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|---------------------------|---|
| 24 | | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) 家族から直接話しを聞き、担当ケアマネージャーと話し合いながら家族の立場に立って受け止め安心できるよう努力している。 | | 引き継ぎ努力していきたい。 |
| 25 | | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) まず、必要としているサービスを職員で話し合い本人と家族に納得してもらえようように対応に努めている。 | | いろいろな情報収集が必要とされる。 |
| 26 | 12 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価) 見学時に、利用者や職員とお茶やおやつを一緒にとったり、体験入所をしている。 (外部評価) 入居前には、ご本人に2～3日体験入居していただき、雰囲気を味わってから、決めてもらえるようすすめておられる。又、ご本人が事業所に慣れるまで、ご家族が宿泊されることもある。 | | 新しい環境に慣れ安心して生活できるよう利用者の立場を考えながら工夫していきたい。 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 27 | 13 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | (自己評価) 利用者から料理、裁縫、季節の行事等教わる事が多くある、話が多方向に広がっていく。 (外部評価) 職員は、利用者から昔の歌を教えてもらったり、梅干しやラッキョウの漬け方を教えていただきながら手作りされている。入浴後、利用者から「ありがとう、気持ちよかったよ」等、声をかけていただくこともある。 | | 昔を回想しながら力を発揮できるような雰囲気作りをつくりより支え合える関係に努めていきたい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|--|---------------------------|--|
| 28 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) 面会時には日常の出来事など報告している。 また昔のことも話したり、家族と相談しながら支援している。 | | 今後も家族と共に本人を支えていけるようにしていきたい。 |
| 29 | | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | (自己評価) 面会時には居室にてゆっくり過ごしてもらい外出や外泊も支援している。 行事の参加も呼びかけている。 | | 誕生日や行事など家族が気軽に参加できるようホーム便りに載せたりして案内する。 |
| 30 | | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている | (自己評価) 今までしてきた習慣は継続できるよう支援している。 馴染みの美容室・買い物等 | | 今後もできる限り支援していきたい。 |
| 31 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | (自己評価) ユニットに関係なく交流がもてるように職員と一緒に行き来している。 利用者同志雑談したり愚痴を言ったり聞いたり慰めたりと関わり合えるように努力している。 | | 利用者ができることをそれぞれにしてもらい共同生活していることを支援していきたい。 |
| 32 | | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価) 近況報告を聞いたり訪問したり努力していきたい。 | | 必要に応じてつきあいを継続していきたいと思っている。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|--|--|---------------------------|---|
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1.一人ひとりの把握 | | | | | |
| 33 | 14 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) | | |
| | | | 本人の思いや希望を日々の暮らしの中で把握に努めていきたい。 | | 普段の生活や会話の中からも把握していきたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 職員は、日々の利用者とのコミュニケーションの中から、思いや意向を把握できるよう努められる。 | | 事業所では、利用者一人ひとりの思いや意向をさらに把握できるよう、アセスメントを工夫して、利用者それぞれに細やかな配慮をした支援を目指していきたいと考えておられた。 |
| 34 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) | | |
| | | | 入所時に本人、家族に聞いたりひびの会話の中でこれまでの生活歴を引き出すようにしている。 | | 会話が弾む雰囲気作りに努めていく。 |
| 35 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | (自己評価) | | |
| | | | 交替勤務のため申し送りや生活記録にて一人一人の過ごし方や心身の状態を把握できるよう努めている。 | | 細かな気配りをしていきたい。 |
| 2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 36 | 15 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | (自己評価) | | |
| | | | 家族とも話し合い各担当職員が主になりカンファレンスを行い本人がより良く暮らせるためのプランを立てている。 | | 話し合う機会を多くし、意見、アイデアを取り入れていきたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | ご家族の意見や医師のアドバイスを受けて、職員は、話し合い介護計画を作成されている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 37 | 16 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価) | | |
| | | | 定期的に見直しと必要に応じてカンファレンスを行い家族とも話し合い本人の現状にあった計画をたてている。 | | 担当職員を主として細かな変化にも気を配るようにしていく。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 短期目標は3ヶ月で見直し、長期目標は6ヶ月で見直しをされている。又、退院時等、状態に変化があったような場合には、随時見直しをされている。 | | |
| 38 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) | | |
| | | | いつもと違う様子に気づき利用者の言葉等を具体的に記入したり生活記録や申し送り帳を毎日目を通し情報を共有している。 | | 今後も実践や介護計画の見直しに活かしていきたい。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 39 | 17 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | デイ利用者が入所になったりショートステイの体制を整えている。 | | 幅広く柔軟な支援を心がけていきたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 理容室へ出かける際や病院の送迎等、利用者やご家族のご都合等にも合わせて支援されている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 40 | | (自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 定期的に運営推進委員会を開き理解に努めサポートして頂いている。 中学生がボランティアに来所したり消防訓練を行ったりしている。 | | 今後も連携を取ながら地域の中での生活を支援していきたい。 |
| 41 | | (自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 今の所必要がなく利用していないが必要になれば支援したい。 | | 他のサービスについても知りたい。 |
| 42 | | (自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 運営推進会議より関係作りができてきた。 | | ほとんどしていない。 知識も乏しく今後に期待したい。 |
| 43 | 18 | (自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人や家族の希望によりかかりつけ医を継続している。ホームでも担当医により定期的な往診で健康管理してもらっている。 | | |
| 44 | | (自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 往診時は相談にのってもらったり電話での相談にも応じてもらっている。理解してもらっている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|--|---------------------------|---|
| 45 | | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | (自己評価) 医療連携加算に入っていないが主治医とはいつでも相談できるようにしている。 | | |
| 46 | | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価) 医療機関や家族との情報交換を行いカンファレンスにも参加したり、利用者の様子を見に行っている・ | | |
| 47 | 19 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | (自己評価) 終末期に向けて本人や家族の思いを医師も交えながら話し合いを多く持ちたい。 (外部評価) 入居時、ご本人が重度化した場合や終末期の支援についての方針を説明されている。必要に応じて医師やご家族と話し合われている。 | | 今後起こりえる事として取り組みたい。 さらに、重度化や終末期のあり方については、ご家族も不安や心配なことでもあり、早い段階から話し合いを行うような取り組みも期待される。 |
| 48 | | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価) 医師とよく話し合って支援していきたい。 終末期について家族との連携が必要であり相談し合っていきたい。 | | 今後準備が必要と思っている。 |
| 49 | | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | (自己評価) | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1.その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 50 | 20 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | (自己評価) | | |
| | | | 職員は常に意識して日々の業務に努めている。個人情報保護法については説明している。 | | 言葉や声かけの大切さを理解し確認しあっている。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 調査訪問時、職員は、笑顔で利用者に接しておられた。職員同士で言葉かけ等、気になる場合は注意し合っておられる。 | | |
| 51 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 利用者が選べるような声かけ、言葉かけの配慮をしている。 | | 本人の思いやりや希望が表れやすい雰囲気作りに努めていきたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | その日の状態により食事、入浴などは希望に添うように支援している。 起床、睡眠もそれぞれのペースに合っている。 | | 一人一人のペースの大切さを再度配慮していきたい。 |
| 52 | 21 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) | | |
| | | | 職員は、利用者を選んでいただくことを大切にされている。日々、ご本人に意向を聞きながらかわっておられ、調査訪問時、利用者の状態を踏まえて「ゆっくり食べてくださいね」と声をかけておられた。 | | |
| | | | (外部評価) | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 53 | | <p>(自己評価)</p> <p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> | <p>利用者に服を選んでもらったり、身だしなみにも気をつけるよう支援している。 行きつけの美容院を希望する人の支援もしている。</p> | | |
| 54 | 22 | <p>(自己評価)</p> <p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>食事は業者が入っているが、手作りクッキングの日を作り食材等の会話が弾む。</p> | | <p>季節の野菜作り、梅干し、らっきょ作りを行っている。</p> |
| 55 | | <p>(外部評価)</p> <p>副食のみ配食となっているが、つくしやわらび、野菜等、季節のもの等が手に入った時には、皆で調理をされている。訪問時、利用者・職員ともに同じテーブルで、当日のメニューについて話したり、楽しくおしゃべりをしながら食事されていた。</p> | | | <p>さらに、利用者が食事一連の流れにかかわるような機会を増やしていかれてはどうか。</p> |
| 55 | | <p>(自己評価)</p> <p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> | <p>お酒はDrと相談し、行事の時に出している。 おやつは手作りのものを多く好みのものや季節感のあるものに努めている。</p> | | <p>手作りおやつの日を多くしていきたい。</p> |
| 56 | | <p>(自己評価)</p> <p>気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p> | <p>排泄チェック表を活用し、個人の排泄パターンを把握しトイレ誘導し、気持ちよく排泄できるよう支援している。</p> | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|---|---------------------------|---|
| 57 | 23 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | (自己評価) | | |
| | | | 午後から入浴が多いが希望に応じて午前中にも入ったりしている。拒否する人にはタイミングや言葉がけにて支援している。 | | 入浴剤を使用したり入浴を楽しめるようにしていきたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 利用者の中には、歌を歌いながら入浴されたり、仲の良い利用者同士で入浴される方もおられる。入浴を嫌がられる方は、ご家族と一緒に入浴されることもある。 | | |
| 58 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 夜間安眠できるよう一日の生活リズムを考慮している。その日の体調に合わせて個別の休息にも努めている。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 今までの生活歴を生かすことができることをしてもらい、感謝の気持ちを伝えている。外出の機会をもつように声かけしている。 | | ホームの生活だけでなく外出や外食、行きたい所、したいことなど意見がでるよう取り組みたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | ふきんや雑巾を縫ってくださる利用者の方もおられる。広告でごみ入れを作ってくれたり、カレンダーの色塗りや風船パレー等、参加の希望を聞きながら支援されている。 | | さらに、ご家族から生活歴を聞き取り、支援につなげていかれることが期待される。利用者一人ひとりの役割や気晴らし、張り合いが持てるよう、この機会に話し合わせてみてほしい。 |
| 60 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) | | |
| | | | 家族に協力を頂き、小遣いを預かっている。ほとんどが事務所で管理している。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|---------------------------|--|
| 61 | 25 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 散歩は毎日行けるようにしている。 また買い物、ドライブ等も希望にそって支援している。 | | 利用者の体調にも考慮しながら勧めていきたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 遊歩道を散歩されるのが日課となっている方がおられ、近所のお寺やお地藏さまをお参りされている方もいる。公園へお花見に出かけられたり、ドライブを楽しまれることもある。 | | |
| 62 | | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価) | | |
| | | | 家族の協力を得て外出の機会を作り支援している。 | | 懐かしい場所や行ってみたい場所へも支援したい。 |
| 63 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 電話を取り次いだりかけたりしている。 個人的にハガキをだしたり年賀状など全員が出せるように支援している。 | | |
| 64 | | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 自室にてゆっくり気兼ねなく過ごしてもらえる雰囲気作りに努めている。 あいさつも笑顔でしている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|------|--|---|---------------------------|--|
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 65 | | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) 身体拘束については職員間で話し合い理解している。 ベッドの安定が確保できない人は布団にて対処している。 | | |
| 66 | 26 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | (自己評価) 夜間は出入口の鍵をかけている。 出入口廊下にはチャイムを設置している。 スタッフも見回りに努めている。 | | 場合によっては危険性があるときはやむを得ない時がある。 |
| | | | (外部評価) 事業所の出入口にチャイムを設置されており、人の出入りが分かるようになっている。利用者から外出したいと申し出があれば、職員と一緒に出かけるようにされている。 | | |
| 67 | | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | (自己評価) 見回りやすい位置にて強化している。 場を離れる時は、職員間で声をかけあい安全に努めている。 | | 入口からすぐ階段になっており今後とも安全に留意していきたい。 |
| 68 | | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | (自己評価) 利用者の状態や状況に応じて対応している。 | | 利用者の変化により危険物の対応は変わっていくと思われる。 その都度考慮したい。 |
| 69 | | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | (自己評価) 事故防止の為に勉強会お行いヒヤリハット報告書もあり今後活用していきたい。 | | 今後も知識を学び事故防止に努めたい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 70 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | (自己評価) マニュアルも作り応急処置の勉強会も行っている。 | | 定期的な勉強会や訓練の機会を多く持ちたいと思っている。 |
| 71 | 27 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | (自己評価) 避難訓練も行っており、隣のマンションが避難場所となっている。 緊急連絡網やマニュアルも作り地域との連携をとれるようにしている。 | | 地域や他施設とも協力、助け合いを日頃より働きかけたい。 |
| | | | (外部評価) 利用者とともに、避難訓練を実施された。運営推進会議で地域の方の協力をいただけるよう、働きかけておられる。 | | 避難訓練時には、地域の方も参加していただき、実施したいと考えておられた。 |
| 72 | | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | (自己評価) 入居時に家族へ説明しているケアプランにも取り入れ自由な暮らしの大切さを考慮し努めたい。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | (自己評価) 日々バイタルチェックを行い記録に残している。 体調の変化や異常があった場合は、医師に相談、話し合い、申し送り等によって職員全体で情報の共有し、対応に努めている。 | | 今後も努めていきたい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|---------------------------|--|
| 74 | | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 薬の処方箋はファイルにいつでも目の通せるようにしている。新しい薬は申し送りにて全職員に知らせている。症状の変化も記録し、医師に相談している。 | | |
| 75 | | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | (自己評価) 医師にも相談しながら、食事、水分量に気をつけている。散歩や体操など運動への働きかけもしている。 | | |
| 76 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | (自己評価) 毎食後、歯みがきの声かけを行い一人一人の口腔状態や力に応じた支援に努めている。毎日義歯洗浄も行っている。 | | |
| 77 | 28 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 食事は業者が入っているが、手作りクッキングの日を作り食材等の会話が弾む。栄養バランス、カロリーを配慮している。食事、水分量は記録にて摂取量を把握している。また、ストロー、スプーン、フォーク、とろみを用意して状態に合った支援をしている。 | | |
| | | | (外部評価) 居間のカウンターにピッチャーを置き、お茶が飲めるようにされている。調査訪問時の昼食後、利用者・職員でお茶をゆっくり楽しまれていた。 | | |
| 78 | | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | (自己評価) インフルエンザは毎年、全利用者、全職員が接種している。その他感染症について研修に参加したり、予防に努めている。 | | 研修に参加し、勉強会もしている。今後も気をつけていきたい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|------|--|---|---------------------------|--|
| 79 | | <p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>保管、管理方法を取り決め安全に努めている。 ふきん等は毎食後消毒している。</p> | | |
| <p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p> | | | | | |
| 80 | | <p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>季節の草花をおいて明るく親しみやすい雰囲気 に努めている。</p> | | |
| 81 | 29 | <p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>清潔でのんびり季節感を取り入れ居心地のよい空間作りになるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>調査訪問時、居間には、利用者の方が散歩時に摘んで来られたすすきが飾られていた。ソファや長椅子が共用空間に配置され、利用者は、それぞれの場所でくつろいでおられる様子がうかがえた。</p> | | |
| 82 | | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>限られたスペースであるがイスやソファを活用し、廊下の隅などでも一息つけるように工夫している。</p> | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 83 | 30 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) | | |
| | | | 入居時には使いなれた物を持ってきてもらって安心して暮らせるよう努めている。 それぞれの好み、状態に合わせて配慮している。 | | 家族と利用者と相談しながら本人の居心地の良い部屋作りをしたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 居室の入口には、ご家族が持って来られたのれんを掛けておられた。仏壇や家族の写真、本等を持ち込まれていた。ご自分でモップをかけて掃除をされる方もいる。 | | |
| 84 | | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価) | | |
| | | | 冷暖房の温度調節をこまめに行い換気に努め、消臭剤等も利用している。 | | 衛生面、清潔保持に気をつけていきたい。 |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | バリアフリー、滑りにくい床、手すり等安全におくれるよう設備や工夫している。 | | 今後も利用者の状態に応じて工夫していく用意がある。 |
| 86 | | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 各居室に表札をかけ好みで目印をつけたりしている。 不安や混乱を招かないよう環境整備に努めている。 | | |
| 87 | | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 自由にベランダには出入でき、洗濯物を干したりひなたぼっこ等している。 裏庭に畑を作り世話したり、ベンチでのんびりできる。 | | |

| お | | |
|----|---|--|
| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない | 個人記録、生活歴を把握し日々の暮らしの中での会話、表現などを感じとるように努力している。 |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない | 午前、午後のおやつ時は会話を楽しみゆったり過ごしている。 |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 居間のソファーに横になったり居間でテレビをみたり自由にその人のペースで暮らしている。 |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 笑顔で話しかけているいろいろな話題に会話が弾んでくる。 また、一人一人の好きなことを支援している。 |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 家族にも協力えながらできるように支援している。 |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 定期的に医師の往診があり、いつでも相談できる。 |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | よく話を聞き一人一人に合わせた対応をしている。 |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない | 面会時、家族から不安に思っていること、困っていることを伺うようにしている。 電話にて連絡、報告したりしている。 |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない | 家族、知人など訪ねてくれる。 中学生ボランティアが来てくれたりしている。 |

| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
|-----|--|--|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ② ② ② 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない | 少しずつではあるがグループホームのことを理解していただき関係が広がっていると思っている。 |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① ① ① ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 笑顔を絶やさず職員間での話し合いもありよく働いています。 |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ① ① ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 利用者とはよく会話をし信頼関係を築きできるかぎり希望にそえるようにしている。 |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ② ② ② 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない | 家族との話し合いや表情などからも満足して頂いてると思います。これからも努力していきたいです。 |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・利用者が自宅にいた時と同じように自由に落ち着いて暮らせる事を大切に考え努めている。
- ・緑に囲まれた自然豊かな環境の中、毎日のように近くの遊歩道を散歩ができる。
- ・利用者と職員も仲良く和気あいあいと生活している。職員がいつも笑顔で接している。
- ・近くの施設や自治会からの声かけがあり、地域の行事、イベントに参加している。
- ・食事は業者に任せていることもあり、利用者の支援にあてる事が出来ている。
- ・健康管理には十分配慮している。
- ・街からも近く買い物に行きやすい。
- ・春にはつくしを採りに行ったり梅干し、らっきょ漬け、梅ジュース作りをしている。
- ・家族の方の希望や意見を聞き話し合いや今後の理解や協力を得ている。